

# 九州ツーリズム・コンソーシアム『ムラたび九州』の取組 (事例⑨：広域連携)

- グリーン・ツーリズムを実践する九州各県のトップリーダーが、農山漁村を基盤としたコミュニティビジネスの創出と、地域活性化を担う人材を育成する組織として、H28年に「ムラたび九州」を設立。
- 九州全域の農泊に取り組む地域とのネットワークの構築とマーケティングに基づく地域経営体の強化を目指す。

## 【設立の目的】

満足度の高い農山漁村ツーリズムを提供する事業者と事業エリアの育成、**九州全域をフィールドとした農山漁村ツーリズムの戦略形成と実践力強化**を中間支援として組織的に行う。

### <主な事業>

- ムラたびカレッジの開催
- 農泊推進事業サポート
- 海外プロモーション、商談会企画
- 情報プラットフォームの管理

## 【実施体制】

### <会長>

本田 節 (有)郷土の家庭料理ひまわり亭 代表取締役  
「郷土料理伝承塾」主宰  
「食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷」主宰

### <副会長>

飯干 淳志 (株)高千穂ムラたび 代表取締役  
高千穂ムラたび協議会 会長  
高千穂観光協会 理事

藤瀬 吉徳 農家民宿 具座

養父 信夫 一般社団法人九州のムラ 代表理事  
総務省 地域力創造アドバイザー  
内閣官房 地域活性化伝道師

### <理事> 7名

### 【組織構成メンバー】

#### ○農泊に取り組む九州各県・分野のトップリーダー

- ①農泊、②農家レストラン、③6次産業家、  
④自然学校・NPO、⑤農業生産法人 ⑥社会起業家

#### ○連携組織・人材

- ①旅行事業・著作・出版・メディア事業者等  
②法制（弁護士、司法書士）、金融機関  
③協議会等の運営経験者  
④ツーリズム行政キャリアOB

#### ○インバウンド定着のためのプロモート人材

- ①海外に活動拠点・実績をもつツーリズム精通者

## 【中間組織としてのプラットフォーム機能】

### <事業・会員支援：地域内の関連事業支援>

- ①観光団体、旅行会社、メディア、海外等への窓口
- ②プロモーション（九州エリア情報の国内外PR）
- ③コンサルティング（事業者・事務局資質の向上、人材育成）
- ④コーディネート（広域連携プラン・事業モデル・事業体発掘）
- ⑤サービスマネジメント（施設・物販・サービスの品質保証）

### <間接的事業サポート>

- ①九州全域のツーリズム戦略形成・事業化の推進
- ②マーケティング（顧客ニーズ、地域コンテンツの磨き上げ）
- ③情報インフラ整備（ポータル、情報管理インフラ）

### <事業機能>

- ①事業受託（新たな実践地域の育成、実践体制の充実支援）
- ②自主事業（会員情報・エリア情報等の情報発信、物産販売）

## 【活動実績】

### <平成29年度>

- ①ムラたび九州カレッジの開催（キックオフ+3回）
  - 農泊の実践的な取組を学ぶ場の提供
  - 地域の課題に応じ、構成メンバーを現地へ派遣
- ②農政局や県等との意見交換



H29ムラたび九州カレッジ

### <平成30年度>

- ①ムラたびJapanカレッジ2018の開催（12回）
- ②交付金団体等への出張講座の実施
- ③地方公共団体の主催の研修会へのアドバイザー派遣



H30ムラたびJapanカレッジ2018

## 【持続的運営のための段階的整備】

- 草創期（3年）：農山漁村振興交付金事業等による創業支援
- 自立期（2年）：自主事業、会員獲得による事業継続環境整備